

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	知る・親しむ・楽しむーなかがわ芸術村事業
事業主体 (連絡先)	中川村教育委員会 上伊那郡中川村片桐 4757
事業区分	③教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	699,597円 (うち支援金: 543,000円)

事業内容

長野県内で活動する現代の美術家を招聘し、地域の身近な素材と場所に注目して、多様な表現を紹介するとともに、美術家の指導による多世代の住民参加のイベントを開催する。

また、地域の「水」「土」「木」「石」をモチーフに、「知る、親しむ、楽しむ」を活動テーマとして3年計画の1年目として、現代の表現活動をとおして身近な自然や文化を見つめ直し、地域の潜在的な魅力や価値を再認識する機会とし、活動を支えるサポーター「アン美シャス」を募集し、「なかがわ芸術村」を支えていく人材発掘につなげたい。継続的な参加を促し、企画・検討に加わるスキルアップをめざす。

事業効果

現代美術家の活動や表現を介在させた展示やワークショップなどをとおして、当地の地域資源の魅力を引き起こし、住民の納得感、満足感を高め、地域に対する誇りが醸成された。

現代の芸術表現の多様性をはじめ、領域を越えた結びつきや役割への理解が進んだ。

ボランティアなどのサポーター「アン美シャス」に5人の登録があった。

村内小中学校と協議し、本企画への参加を促して、村内全校でワークショップを実施することができた。また、一部学校の通常授業での美術館への来館、見学にもつながった。

今後の取り組み

国内外で唯一の「アンフォルメル」を冠した美術館を内外に一層アピールするとともに、文字どおり「形にとらわれない」活動を展開していくための3年計画の1年目の事業モデルとして実施できた。今年度は美術館での取り組みを学校教育の中でも取り組んでもらうことができた。

3年計画を進め、次年度は30周年の節目の企画も考えている。アンフォルメル美術館の30周年の節目を機に、「最も美しい村」と並んで、世代を越えて芸術・文化を誇りとする「なかがわ芸術村」を目指したい。



【小学校で取り組んだ植物文字】

【目標・ねらい】

現代の表現活動をとおして身近な自然や文化を見つめ直し、地域の潜在的な魅力や価値を再認識する機会とする。

※自己評価【A】

【理由】

村内小中学校と協力し、村内全校でワークショップを実施することができた。また、一部学校の通常授業での美術館への来館、見学につなげることができた。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある